



災害に備えて

あなたにできることは？



あいさつも防災につながる

できるといってはじめてよし！



皆さんは、災害に備えて何かを準備したり、意識していることはありますか？

非常食の備えや避難場所の確認などは、大事なことはわかっていても、なかなか行動に移せない、という人もいるのではないのでしょうか。

日常の中でできる防災の取り組みとして、地域の人のあいさつや地域行事への参加といった普段からのつながりづくりがあります。

過去の大規模災害の際に被害が少なかった地域では、日頃からあいさつを交わし、

声をかけあって、必要に応じて支援が必要な人の名簿を作るといった取り組みがなされていたところもあったようです。

取り組みやすさの感じ方は人それぞれですが、自分や周りの人の命を守るため、まずはできることから取り組んでいきましょ。



濡れた家具を運び出すボランティア



市内の浸水被害の様子



災害に備えた図上訓練の様子

しかし、いづどんな規模で起きるかわからないのが災害…

市社会福祉協議会では、一定規模以上の災害が発生した際に、市との協定に基づいて、災害ボランティアセンターを開設します。

災害ボランティアセンターでは、ボランティアの皆さんの協力を得て、自力では生活復旧が困難な被災者のお

手伝いを行います。そのため、被災状況や被災者のニーズの把握、ボランティアの募集やマネジメント、資機材等の調達、情報発信等を行います。また、防災士、災害関連のNPO、企業等、多くの皆さんの協力を得て運営・活動します。

災害ボランティアセンターはどんなことをするの？

ボランティアの皆さんが被災者のご自宅に伺い、次のことを手伝います。

- ・ 水に浸かった家具等の運び出し
- ・ 災害ごみの仮置き場までの運搬
- ・ 床掃除、拭き上げ
- ・ 畳の運び出し など

※ボランティアでは対応できない作業については、専門的な技術をもったNPOにつながるなど、連携して対応します。

災害ボランティアに関すること、地域福祉活動に関することなどは、お気軽に市社会福祉協議会までご相談ください。

【問い合わせ】
市社会福祉協議会
TEL0942・34・30035
TEL0942・34・30035
FAX0942・34・30090

